

土木学会誌第 44 巻および論文集（昭和 34 年度）総目次

土木学会誌

【口絵写真】

1 月号

嵐山橋架替工事
四谷駅における国電・地下鉄の立体交叉工事
新数寄屋橋工事

2 月号

都心に初の路上有料駐車場完成
ガス橋架替工事
工事を急ぐ三国々道

3 月号

京阪神急行電鉄梅田・十三間複線増設工事終る
東北電力上野尻発電所完成

4 月号

霞ヶ関・新宿間営業開始
81 人乗り阿蘇ロープウェイ竣工
城ヶ島大橋 PC 桁架設終了
瀬田川橋完成
竣工した藤武橋
海門橋工事ほぼ終了

5 月号

中国電力佐々並川アーチダム完成
電源開発田子倉ダム一部湛水開始
茨城県久慈港建設状況
京葉道路江戸川大橋

6 月号

故名誉員 元会長 辰馬鎌蔵君 略歴
故名誉員 元関西支部長 島重治君 略歴
横浜市 PC 調整水槽完成
新潟港防波堤テトラポッド工事状況
静岡県弁天大橋（浜名湖一弁天島）竣工

7 月号

昭和 34 年度土木学会役員

土木学会名誉員推挙報告

就任の言葉 会長 田中茂美

有峰ダム一部湛水完了

和田川第一発電所

東北電力八戸火力発電所竣工

仙台火力発電所建設工事状況

日本住宅公団ひばりヶ丘汚水処理場完成

8 月号

赤外線航空写真とパナクロ写真との比較

若戸橋フローティングケーソン工事

9 月号

真鶴有料道路開通

四国電力大森川中空重力式ダム完成

10 月号

15 号台風被害状況について

横浜市内根岸線工事状況

東京都芝浦下水処理場拡張工事終了

完成近い城ヶ島大橋

11 月号

鶴見一之先生を想う

掘削進む北陸トンネル

黒四ダム高瀬川骨材製造場全景

最近の黒四地下発電所

黒四ダム コンクリート打設状況

横浜新道開通

12 月号

伊勢湾台風の仮復旧工事状況

西荒井橋建設工事

1
44
11234

号 ページ

年頭所感.....会長 工博 米田正文... 1 1

【会長講演】

最近の河川計画について.....会長 工博 米田正文... 7 1

【記念講演】

原爆の災害と家屋の放射遮蔽効果..... 医博 蜂谷道彦... 7 7

古代の瀬戸内海周辺..... 小倉豊文... 7 13

【交通シンポジウム】

交通シンポジウムの企画について.....正員 田原保二... 4 1

交通施設建設計画の諸問題——序論——.....正員 工博 八十島義之助... 4 2

交通施設建設計画の諸問題——鉄道——.....正員 田中倫治... 5 1

交通施設建設計画の諸問題——道路——.....正員 尾之内由紀夫... 6 1

| | | | | | | |
|---|----------------|----|-----|---------------------------------|----|----|
| 交通施設建設設計面の諸問題——港湾—— | 正員 | 工博 | 東 | 寿 | 7 | 19 |
| 交通施設建設設計面の諸問題——都市交通—— | 正員 | | 奥田 | 教朝 | 8 | 1 |
| 【報 告】 | | | | | | |
| 大阪市庭窪浄水場建設工事 | 正員 正員 | | 長谷川 | 寛一 | 1 | 1 |
| 路床土支持力比 (CBR) の簡易測定法としての球体落下試験について | 正員 正員 正員 | 工博 | 村植 | 山下 藤 逆郎 | 1 | 9 |
| プレストレスト コンクリートけたを並列した床版橋の横方向剛度について | 正員 | 工博 | 猪股 | 俊司 | 1 | 15 |
| 第6回国際大ダム会議に出席して | 正員 | 工博 | 吉田 | 徳次郎 | 2 | 1 |
| 第二阪神国道の建設計画 | 正員 正員 | | 田坂 | 栄美 | 2 | 7 |
| トンネルの湧水——北陸トンネルにおける湧水量の推定—— | 正員 | | 高橋 | 彦治 | 2 | 15 |
| 日本電波塔架設工事について | 正員 | | 宮地 | 栄治郎 | 3 | 1 |
| 松島炭田開発にともなう池島における人工港築造について | 正員 | | 小椋 | 正 | 3 | 7 |
| 土木計画における産業連関分析と Linear Programming の適用 | 正員 正員 | 工博 | 鈴木 | 雅次 北 良 | 4 | 7 |
| 御母衣ダムの土質材料について | 正員 | 工博 | 伊藤 | 令二 | 4 | 17 |
| 最近の遠心力鉄筋コンクリート クイ継手工法について | 正員 正員 | | 綾中 | 田 亀重 一夫 | 5 | 9 |
| ソイル セメント基層工の施工管理と工事歩掛りについて | 正員 正員 | | 長多 | 尾田 宏 満行 | 5 | 19 |
| ポンプ船排砂管の経済的管径およびその他の諸問題 | 正員 | | 小川 | 元 | 5 | 23 |
| 新潟港テトラポッド防波堤の設計, 施工について | 正員 正員 | 工博 | 白石 | 直文 直 樹 | 6 | 9 |
| プレストレスト コンクリートのポストテンション工法における引張材の定着装置について | 正員 | | 吉村 | 善 臣 | 6 | 19 |
| 鳴子アーチ ダム工事報告 | 正員 | | 宮崎 | 崎 明 | 7 | 31 |
| ガス橋の計画と架設について | 正員 正員 | | 能登 | 尚平 津 男 | 7 | 45 |
| 八戸火力発電所建設工事について | 正員 | | 矢崎 | 道 美 | 7 | 53 |
| 東海道新幹線計画について | 正員 | | 宮沢 | 吉 弘 | 8 | 7 |
| 赤外線航空写真とその応用について | 正員 正員 | 工博 | 丸西 | 安隆 元 充 | 8 | 15 |
| 中谷橋の応力計算について——Kani の方法による合成トラス上弦材の簡易解法—— | 正員 正員 | | 関佐 | 利雄 々 木 道夫 | 8 | 23 |
| e P C 桁の耐火性の研究 | 正員 正員 正員 | 工博 | 仁河 | 杉野 原 通 操 之 | 9 | 1 |
| 土木計画における産業連関分析と Linear Programming の適用 (追補) | 名譽員 正員 | 工博 | 鈴木 | 雅次 北 良 | 9 | 11 |
| わが国最初のプレストレスト コンクリート水槽工事 | 正員 正員 | 工博 | 井深 | 深和 渡 功夫 | 9 | 15 |
| まだ固まらないコンクリートの水セメント比の一試験方法 | 正員 | | 水野 | 俊一 | 10 | 1 |
| 発電用原子炉の地下格納について | 正員 | | 上野 | 忠 男 | 10 | 9 |
| 高張力鋼におよぼす溶接熱量の影響 | 正員 | 工博 | 奥村 | 敏 恵 | 11 | 1 |
| 滝野大橋 (連続格子桁橋) の載荷実験について | 正員 正員 正員 | 工博 | 成岡 | 昌夫 本 知弘 山 幸二 | 11 | 11 |
| Geodimeter による長距離精密測定の方法ならびにその精度について | 正員 | 工博 | 多谷 | 虎 男 | 11 | 17 |
| 伊勢湾台風による災害の概況について | 正員 | | 山内 | 一 郎 | 12 | 1 |
| 伊勢湾台風と復旧計画の問題点 | 正員 | 工博 | 安芸 | 一 皎 | 12 | 17 |
| 東京都長沢浄水場建設工事報告 | 正員 | 工博 | 扇田 | 彦義 中 一徳 | 12 | 25 |
| 瀬田川大橋架設工事報告 | 正員 正員 | | 奥野 | 多喜 田 保夫 原 二 | 12 | 33 |
| 西新井橋架設工事について——下部構造の設計および施工について—— | 正員 正員 正員 | | 奥野 | 多喜 田 保夫 原 二 針 光 玉 治 | 12 | 39 |

| | | | | | |
|--|----------------|--------|---|----|----|
| 合成桁(子飼橋)の温度分布と変形の測定ならびにこれらの結果から算定した温度応力について | 正員 正員 正員 | 工博 | 吉村 村 村上 橋 虎義 久 藏夫 昭 | 12 | 51 |
| 土木計画の効果算定式の簡易化について ——全国および地域的計画の全波及効果—— | 名誉員 正員 | 工博 | 鈴木 木 川 北 | 12 | 59 |
| 【解 説】 | | | | | |
| 構造解析における Digital Computer の応用(2) | 正員 | 工博 | 成 岡 昌 夫 | 1 | 23 |
| 建設省河川砂防技術基準(案)について | 正員 | 工博 | 中 安 米 藏 | 5 | 31 |
| 道路構造令の制定について | 正員 | | 尾之内 由紀夫 | 5 | 33 |
| 【寄 書】 | | | | | |
| アメリカの大学の一端——特に Illinois 大学 Talbot 研究所—— | 正員 | 工博 | 奥 村 敏 恵 | 2 | 27 |
| 国際溶接会議および欧米紀行 | 正員 | | 成 瀬 勝 武 | 3 | 17 |
| 水理学の最近の発達 | 正員 | By Dr. | Ven Te Chow | 3 | 23 |
| 土木という語 | 名誉員 | 工博 | 岩 佐 義 朗 真 田 秀 吉 | 6 | 27 |
| 辰馬さんと私 | 正員 | 工博 | 金 森 誠 之 | 6 | 29 |
| 土木工事と会計検査 | 正員 | | 増 山 辰 夫 | 6 | 31 |
| 道路技術援助面より見たアフガニスタン | 正員 | | 神 谷 洋 | 6 | 35 |
| 北海道における道路工事の現状について | 正員 | | 瀬 藤 智 雄 | 7 | 63 |
| イランにおける当面の問題点——主として建設事情について—— | 正員 | 工博 | 坂 野 重 信 | 7 | 67 |
| 設計委託のあり方について | 正員 | | 小 寺 重 郎 | 8 | 31 |
| 海外におけるコンサルタントの活動について——ビルマ・南ベトナム・ジャバにおける建設計画—— | 正員 | | 吉 田 良 三 | 8 | 35 |
| 第3回プレストレスト コンクリート国際会議の報告 | 正員 | | 松 本 嘉 司 | 8 | 43 |
| 関門トンネル管理上の問題 | 正員 | | 中 尾 光 信 | 9 | 21 |
| 金森誠之君を想う | 正員 | 工博 | 内 海 清 温 | 9 | 27 |
| 金森誠之君を弔ふ | 正員 | | 金 子 源 一 郎 | 9 | 27 |
| 首都圏における将来の工業用水対策 | 正員 | 工博 | 岡 部 三 郎 | 10 | 17 |
| 名誉員 鶴見一之博士を悼む | 名誉員 | | 草 間 偉 | 11 | 28 |
| 特許法改正の要点 | 正員 | | 吉 藤 幸 朔 | 11 | 29 |
| 第3回地震工学研究発表会を終つて | 正員 | 工博 | 岡 本 舜 三 | 11 | 35 |
| 土木関係者の銅像 | 名誉員 | 工博 | 真 田 秀 吉 | 12 | 73 |
| 第6回海岸工学講演会について | 正員 | 工博 | 本 間 仁 | 12 | 75 |
| 【資 料】 | | | | | |
| 越路橋(旧鉄道橋)の拡幅工事 | 正員 | | 高 橋 敏 朗 | 2 | 33 |
| プレストレスト コンクリート桁の疲労に関する研究について | 正員 | | 野 口 功 | 4 | 27 |
| 1958年度国際材料構造試験所連合会議(RILEM)報告 | 正員 | 工博 | 水 野 高 明 | 4 | 33 |
| 階差法に関する文献 | 正員 | 工博 | 成 岡 昌 夫 | 5 | 37 |
| 矢板岸壁の根入および断面決定の速算法 | 正員 | 工博 | 岡 部 三 昌 郎 | 6 | 45 |
| 三辺固定、一辺自由な矩形板が等変分布荷重を受ける場合の タワミおよび曲げモーメントについて | 正員 正員 正員 | 工博 | 成 岡 越 三 昌 夫 山 本 林 三 知 郎 小 櫻 井 春 一 輔 | 7 | 73 |
| 円筒シェル水槽の耐震計算について | 正員 正員 | | 飯 菰 島 原 延 直 雄 | 10 | 19 |
| 膨脹セメントの最近の発達について | 正員 | | 松 本 嘉 司 | 10 | 25 |
| 本州—四国連絡架橋海底地質調査の概要 ——スパーカー法による地質調査—— | 正員 正員 | 理博 | 小 野 井 谷 透 勇 三 | 12 | 67 |
| 【講 座】 | | | | | |
| 発電水力[IV]——水力発電の将来と経済性—— | 正員 | | 三 村 誠 三 | 1 | 29 |
| 【委員会報告】 | | | | | |
| 土木設計および監理業務基準制定について | | | {土木設計監理 小委員会 | 2 | 35 |
| 耐震工学委員会の現況報告 | | | 耐震工学委員会 | 3 | 31 |

| | | | |
|-------------------------|-------------|----|----|
| 土木学会誌および土木学会論文集投稿要項について | 正員 工博 国分 正胤 | 4 | 39 |
| 【土木学会広島大会報告】 | 土木学会中国四国支部 | 7 | 81 |
| 第 45 回通常総会 | | 7 | 81 |
| 第 14 回年次学術講演会 | | 7 | 83 |
| 懇親会 | | 7 | 84 |
| 見学会 (A 班～D 班) | | 7 | 84 |
| 【第 14 回年次学術講演会一般報告】 | | 7 | 91 |
| 【豆知識】 | | | |
| 水ガラスとセメント | | 7 | 62 |
| わが国の包蔵水力 | | 8 | 57 |
| 国鉄新幹線に用いられる構造物の設計活荷重 | | 9 | 10 |
| 道路線形を決定する場合の透視図のはたす役目 | | 10 | 47 |
| HP と PS と W | | 11 | 39 |
| 河川管理と水質汚濁 | | 12 | 24 |

| 【文献抄録】 | 号 ページ | 号 ページ | |
|--|-------|--|------|
| 文献抄録および文献目録欄の充実について | 1 37 | プレストレスト コンクリート水槽 | 3 33 |
| 文献目録登載予定雑誌名 | 1 37 | オランダにおける干拓 | 3 34 |
| 弾塑性板の大タワミ理論 | 1 38 | コンクリート中の気泡組織の発生と発達 およびその効果について—第 2 部 AE 剤の種類と使用量の影響, 第 3 部水セメン ト比と締固めの影響, 第 4 部現場コン クリートにおける気泡組織 | 3 35 |
| コンクリートの高温養生に関する経験 | 1 39 | 空気混入高速水流 | 3 35 |
| 合成応力を受けるコンクリートの強度 | 1 39 | 浅海の風波に関する実験的研究 | 3 37 |
| アン河の Chazey 橋の再築 | 1 40 | 英国における市街地の土地利用構成 | 3 37 |
| ワルソーの復興 | 1 40 | 軟質まくら木のくい込み磨耗調査 | 3 38 |
| ディジタル型電子計算機による洪水予報 | 1 41 | 南ダコタ州における大規模な橋梁工事の 工費節約 | 4 41 |
| 確率論とダム貯水量 | 1 41 | 非収縮グラウトによる栈橋工事の簡素化 | 4 41 |
| New England の高潮対策 | 1 42 | スクランブル式交通信号除去の効果 | 4 42 |
| ドライアイスを使用した プレストレスの導入 | 1 43 | 剛性マトリックス解析のための電子計算機 | 4 42 |
| 2 mile (≒3.2 km) にわたるベルト コンベヤーによるアースフィル ダム の不透水性土の速かなる運搬 | 1 43 | Tappan Zee 橋の主スパンに用いられた 軽量コンクリート版 | 4 43 |
| 道路の休憩施設について | 1 43 | プレキャスト コンクリート産業に おけるトラスの使用 | 4 43 |
| 鉄道と交通計画 | 1 45 | 浅海波を反射するための浮堤 | 4 43 |
| 電子計算機によるタイド アーチ橋の 応力解析 | 2 39 | 開水路の空気混入流 | 4 44 |
| Nordereld 橋の Billhorner 橋の新設 —Hamburg— (第 1 報, 第 2 報) | 2 39 | 電子計算機による交通量推定法の検討 | 4 45 |
| Amsterdam の P C 連続桁 | 2 40 | オハイオ・ターンパイクの事故研究 | 4 46 |
| プレストレスト遠心力コンクリート パイプ | 2 40 | 踏切における自動車の安全速度 | 4 46 |
| テーブル振動機に締固めのさいの振幅 および振動数の影響について | 2 40 | 鉾山鉄道網におけるレールの磨耗調査 | 4 47 |
| コンクリートのウォーカ ビリチー におよぼす粗骨材の性状の影響 | 2 41 | 軌道ハシゴに誘起される慣性モーメントの 決定について | 4 48 |
| 井戸による損失雨量の測定 | 2 41 | 軽い箱でできた世界最大のドライ ドッグ | 5 41 |
| 水資源は無限か? | 2 41 | 巨大ナイアガラの大工事 | 5 41 |
| 地下水汲み上げによる地盤沈下 | 2 41 | 粒状物質の応用とヒズミの関係 | 5 43 |
| セクター ゲート式ロックの模型実験 | 2 42 | 弾性床上的ハリの沈下理論 | 5 43 |
| 非被覆・被覆・一部分被覆トンネルの 粗度係数 | 2 42 | コンクリートのひびわれの研究に関する 新しい貢献 | 5 44 |
| 跳水の大きいとエネルギー損失の 新しい計算式 | 2 42 | 長径間の橋 | 5 45 |
| Middlesex における駐車需要 | 2 42 | 混和剤の使用によつて管理された コンクリートの凝結時間 | 5 45 |
| 水中構造物に働く波力 | 2 43 | 構造物を保守する立場から見た早強セメント | 5 46 |
| 種々のレール締結装置の軌きよう 横剛性におよぼす影響 | 2 44 | 放射性石英による海岸の砂の移動の追跡 | 5 46 |
| Bhakra ダムのコンクリート打ち | 3 33 | 単式サージ タンク系の非定常流 | 5 47 |

| | | | | | |
|--|---|-----|---|----|----|
| 調圧水槽の振動安定化 | 5 | 48 | 組立式コンクリート坑木 YPJIM | 8 | 51 |
| 交通建設における発明・改良の提案運動 | 5 | 48 | 混和材料を用いて改善したトレミー コンクリート | 8 | 51 |
| 組立式鉄筋コンクリート外殻式杭の統一の問題 | 5 | 48 | 鋼線を直線状と折線状とに入れたプレスト レスト スパン構造物 | 8 | 52 |
| 新案組立式コンクリートまくら木 | 5 | 48 | プレストレスト コンクリートの収縮および クリープによる損失の精密計算法 | 8 | 52 |
| コンクリートまくら木を用いた軌道の 計算の特殊性 | 5 | 49 | 波の集中と分散を目的とした海底構造物 | 8 | 52 |
| 75 kg 重レールの敷設 | 5 | 49 | 地すべりの運動と海食の程度について | 8 | 53 |
| ニューヨーク セントラル鉄道のヤング 操車場 | 6 | 51 | 管路の摩擦抵抗指数公式の合理的決定法 | 8 | 53 |
| 模型による地下水調査 | 6 | 51 | 散水パイプの実験 | 8 | 53 |
| 計算機によるコロンビア河の洪水追跡 | 6 | 52 | 交通整理方式によつて異なる街路交通容量 | 8 | 54 |
| 空中写真の地質および地形判読への 利用について | 6 | 52 | タービン掘削における金剛石ドリルの利用 | 8 | 55 |
| 空中写真を判読に利用する場合の 縮尺と器械の関係 | 6 | 53 | 深い井戸を掘る場合、ピットを回転させるに 要するエネルギー量 | 8 | 56 |
| 空中写真を種々の歴史的時代における、 自然地理学の状態や人文地理学の資料の 研究への使用について | 6 | 53 | 井戸壁の粒土性岩石の電気化学固定法 | 8 | 56 |
| ダム崩壊による洪水波の厳密解 | 6 | 53 | 大きな岩石片を立坑から排出する研究 | 8 | 56 |
| ゴリコフ発電所ダム建設における凍土 壁工法 | 6 | 54 | 現代における立坑掘り技術の分類と評価 | 8 | 56 |
| 航空写真による交通調査 | 6 | 54 | “アルモエメント”による組立坑木 | 8 | 56 |
| 路盤の間ゲキ庄 | 6 | 54 | 世界最長の昇開橋完成 | 9 | 29 |
| 土木技術者のための都市計画教育 | 6 | 55 | 衝撃に対するスラブの応答 | 9 | 29 |
| ゴム製軌条締結装置 | 6 | 56 | Sylvenstein 貯水池上の Fallerklamm 橋 | 9 | 30 |
| 世界最長のトンネル | 6 | 57 | P S コンクリート ラーメンの架設 ——ベルリン—— | 9 | 30 |
| 細骨材の粒度分布が空気量におよぼす 影響について | 6 | 58 | ポストテンションのプレキャスト部材の 継目のせん断試験 | 9 | 31 |
| 非定常管内乱流の抵抗係数 | 6 | 58 | 骨材の比表面積を用いた配合設計法 | 9 | 32 |
| 2 次元水路における土砂流送と河床変形 | 7 | 99 | 海岸過程および海岸保全に関する一般論 | 9 | 32 |
| 橋脚下層土の電氣的安定 | 7 | 100 | かんがい用水路からの浸透流量 | 9 | 33 |
| 世界最高のアース ダム完成 | 7 | 100 | 粘性土の含水比試験と鑑別 | 9 | 33 |
| 世界最高のアーチ橋建設 | 7 | 102 | 速度制限標識の効果 | 9 | 34 |
| 集中荷重を受ける一辺固定の片持板 | 7 | 102 | 溶接軌道の安定 | 9 | 34 |
| くり返し荷重と粘土路床の変形 | 7 | 103 | バルティモア燭台テレビ塔 | 10 | 29 |
| 水力防波堤と潜堤との組合せに関する実験 | 7 | 105 | 模型実験によつて版の影響線を見出す方法 | 10 | 30 |
| 加速状態における水中の円柱に働く力 | 7 | 106 | コンクリート継目に用いる止水板 | 10 | 30 |
| 長期間供用によるシート アスファルト 舗装の変質の進行について | 7 | 107 | 直立壁にかかる砕波の圧力 | 10 | 31 |
| メイン州における航空写真による 路線選定のための地形解析 | 7 | 107 | 土砂浮遊流の抵抗について | 10 | 31 |
| ニューカンサスにおける「カーブ」の 道路標識改善による事故死の減少 | 7 | 107 | 泥土性底質による浅水波の減衰作用 | 10 | 32 |
| ラジオによる転換交通の規別について | 7 | 107 | 舗装面の平坦性を増す調整器 | 10 | 32 |
| レールの質的改善 | 7 | 107 | 放射能テストによる締固め管理の改善 | 10 | 33 |
| 軌道弾性の均等性の試験 | 7 | 108 | 1日 6000 本のまくら木取りおろし | 10 | 33 |
| 架線電柱基礎掘り用振動式穴掘り機 | 7 | 108 | レール断面研究のための二、三の実験的方法 | 10 | 34 |
| モスクワ河二階式橋梁の車道部分に用い られたプレストレスト コンクリート桁 | 7 | 108 | 鉄筋コンクリート製、蝶番式アーチ型坑木 | 10 | 34 |
| 地下鉄におけるシリアルチットの利用 | 7 | 108 | 二つのチュープよりなる厚肉支保工の 計算について | 10 | 35 |
| 大型機のための舗装について | 8 | 49 | グラウティング セメントの試験方法の改訂 | 10 | 35 |
| 平行弦トラスの理論 | 8 | 49 | パイプによつて立坑内に降下される コンクリートの成層性の研究 | 10 | 35 |
| 橋梁基礎の凍上に対する防護 | 8 | 51 | 道路交差点における信号の交通処理能力 | 11 | 41 |
| 立坑建設におけるカルスト石灰岩地区 における湧水防止 | 8 | 51 | 放射性同位元素の使用による下水処理場の 観察 | 11 | 42 |
| 組立式コンクリート坑木を用いた 坑道の合理的断面について | 8 | 51 | セメント ペーストの乾燥収縮におよぼす 岩粉および細骨材の影響 | 11 | 42 |
| | | | 土の圧縮性にもとづいて支持力を求める方法 | 11 | 43 |

| | | |
|-------------------------------------|----|----|
| P C鋼材が2段に配置されている部材のクリープ、乾燥収縮による応力変化 | 11 | 44 |
| コロンビア河の流量に対する上流開発の影響 | 11 | 45 |
| 超音波による流速測定 | 11 | 46 |
| 線路班は必要か | 11 | 47 |
| アラスカにおける土木界の近況 | 12 | 79 |
| シンシナチのミル・クリーク下水工事 | 12 | 79 |
| ミシシッピ河堤防の基礎ろろ水の研究 | 12 | 80 |
| 構造物における固有値の計算 | 12 | 80 |
| 柱を地中に固定されているラーメンの計算 | 12 | 81 |
| 等分布荷重を受ける隣接2辺固定版 | 12 | 82 |

| | | |
|-------------------------------------|----|----|
| デジタル コンピューターによるサージ タンク系の解析 | 12 | 83 |
| 米国北西部のダムの余水吐き調査 | 12 | 83 |
| カリフォルニアのサンタ・バルバラ港のサンド バイパス | 12 | 84 |
| 砂浜の平衡勾配 | 12 | 85 |
| 既設コンクリート舗装版の表層として用いられた薄層のコンクリートについて | 12 | 85 |
| ハノーバーとカッセルの都市中心部の再建 | 12 | 86 |
| 観光地における人口の測定について | 12 | 87 |
| 凍土地域における電柱架設 | 12 | 87 |
| 新製タイ・タンパーシェパーム1型(IIIJM) | 12 | 87 |
| 保線に対する放射性アイソトープの応用 | 12 | 87 |

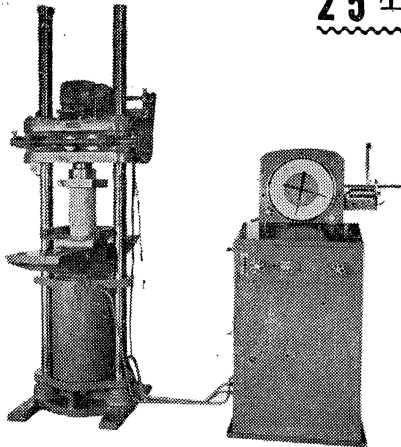
土木学会論文集

| | | | | 号 | ページ |
|---|----------------|----------|-------------------------|----|-------------|
| 斜合成格子桁橋、斜合成桁橋模型の実験的研究 ——特に斜合成格子桁橋の曲げモーメントおよびタワミの影響係数の digital computer による計算について—— | 正員 正員 准員 | 工博 | 成岡 昌夫 大永 重光 | 60 | 1 |
| 拡張せる Kötter の方程式に関する二、三の考察 | 正員 | | 山口 柏樹 | 60 | 11 |
| カンテレーバ-矩形板の曲げについて | 正員 | 工博 | 能町 純雄 | 60 | 20 |
| 相似回路によるラーメンの応力解析 | 正員 | | 山内 利彦 | 60 | 30 |
| 雨水流出用演算器について | 正員 | | 石原 安雄 | 60 | 37 |
| 基礎地盤の圧密度と強度増加の関係 | 正員 | 工博 | 赤井 浩一 | 60 | 46 |
| 人工地震発生装置による振動土圧の実測 | 正員 | | 丹羽 新 | 60 | 54 |
| プレストレスト コンクリート道路橋(大阪府金剛大橋)の設計、施工およびこれに関連して行つた実験研究の報告 | 正員 正員 正員 | 工博 | 田原 保二 猪股 俊次 南野 修 | 60 | 別冊 (3-1) |
| 天然色航空写真に関する研究 | 正員 正員 | 工博 | 丸西 隆元 安尾 充 | 60 | 別冊 (3-2) |
| 単位図法とその適用に関する基礎的研究 | 正員 | 工博 | 石原 藤次郎 高棹 琢馬 | 60 | 別冊 (3-3) |
| 摩擦性塑性体の迂り線の幾何学 | 正員 | | 山口 柏樹 | 61 | 1 |
| 衝撃荷重によるハリの塑性変形について(続報) | 正員 | 工博 | 米沢 博 | 61 | 10 |
| 振動実験における模型相似律——原子炉グラファイト パイル耐震研究のための予備実験—— | 正員 | 工博 | 畑野 正 | 61 | 18 |
| マツシブな構造物の収縮応力に関する光弾性学的基礎研究 | 正員 | | 川本 朧万 | 61 | 29 |
| 平均値法に基づく管水路内の流量算定式の誘導 | 正員 | 工博 | 春日 屋伸昌 | 61 | 38 |
| 開水路における移動床の不安定性について——微小振動法による理論的解析—— | 正員 | | 松梨 順三郎 | 61 | 47 |
| 観光駐車場の将来計画に関する研究——理論の部—— | 正員 | | 毛利 正光 | 61 | 54 |
| 発電用河川流量の研究 | 正員 | 工博 工博 | 大久保 達郎 西原 宏司 林 敬 | 61 | 別冊 (3-1) |
| Dynamical Similitude of Surge Tanks (サージ タンクの相似律) | 正員 | 工博 | 林 泰造 | 61 | 別冊 (3-2) |
| 骨材の表面積と新表面積法による構築混合物の検討とその応用に関する研究 | 正員 | | 太田 誠一郎 | 61 | 別冊 (3-3) |
| 橋の衝撃係数に関する確率論的一考察 | 正員 正員 正員 | 工博 | 小山 善一郎 篠田 一宣 堀 正為 | 62 | 1 |
| ロッキング現象における一つの吟味 | 正員 | 工博 | 畑野 正 | 62 | 6 |
| 多径間ラーメン隅角部の応力分布とその近似計算 | 正員 正員 | | 山本 上 広 | 62 | 16 |
| 開水路における移動床の不安定性について——河床変動の実験資料についての検討—— | 正員 | | 松梨 順三郎 | 62 | 25 |
| 橋脚周辺における水面変動について | 正員 | | 杉本 修 | 62 | 33 |

| | | | | | |
|--|----|----|-------------|----|----------|
| 粘土の動的圧密について…………… | 正員 | 工博 | 村山 朔 郎 | 62 | 42 |
| 観光駐車場の将来計画に関する研究——実計算例について——…………… | 正員 | | 柴 利 正 光 | 62 | 49 |
| D 51 型機関車の 8 番片開き分岐器通過について…………… | 正員 | 工博 | 小 野 一 良 | 62 | 56 |
| 中空円筒形供試体を用いる透水試験方法…………… | 正員 | | 村 田 二 郎 | 63 | 1 |
| 塑性流動における速度場の理論…………… | 正員 | | 山 口 柏 樹 | 63 | 8 |
| 不完全合成桁材のねじり…………… | 正員 | | 山 本 稔 | 63 | 17 |
| 片側ステップナーの有効剛度について…………… | 正員 | 工博 | 奥 村 敏 恵 | 63 | 23 |
| 多孔管型集水装置の水理設計について…………… | 正員 | | 末 石 富 太 郎 | 63 | 36 |
| 放射状開水路流れの一解析…………… | 正員 | 工博 | 荒 木 正 夫 | 63 | 48 |
| On the Motion of the Flood-flow Running down through the River.—Mathematical Treatment and its Applicability—…………… | 正員 | | 木 下 武 雄 | 63 | 57 |
| 光弾性学的方法による砂中応力の測定について…………… | 正員 | 工博 | 村 山 朔 郎 | 63 | 66 |
| | 正員 | 工博 | 丹 羽 本 義 次 | 63 | 66 |
| | 正員 | 工博 | 平 井 藤 敦 学 | 64 | 1 |
| 重橋床式無補剛吊橋について…………… | 正員 | | 伊 内 田 勝 雄 | 64 | 10 |
| | 正員 | | 矢 野 川 剛 興 | 64 | 10 |
| ロング パイプ ビームに関する実験的考察…………… | 正員 | | 瀨 秋 山 成 政 | 64 | 21 |
| 日本主要都市の確率降雨強度式について…………… | 正員 | | 石 黒 高 志 | 64 | 28 |
| 水文資料の少ない河川の流出解析例について…………… | 正員 | | 高 志 瀬 賀 信 是 | 64 | 28 |
| 放射流式透水試験器の試作実験について…………… | 正員 | | 酒 井 左 武 郎 | 64 | 39 |
| 砂質地盤内の基礎杭の支持力の一計算法——群杭の支持力の計算——…………… | 正員 | | 西 田 義 親 | 64 | 48 |
| 電気浸透と電解の原理による土と壁体間摩擦の軽減に関する実験…………… | 正員 | | 浅 川 美 利 | 64 | 55 |
| リゲニン系材料による新しい土質安定処理について…………… | 正員 | | 山 内 豊 聡 | 64 | 66 |
| 電気浸透による土の脱水機構について…………… | 正員 | | 三 瀬 貞 | 64 | 73 |
| 自動車輪荷重計の試作と輪荷重頻度分布について…………… | 正員 | | 西 村 昭 | 64 | 79 |
| 測量用望遠鏡の視点軌跡の形状並びにこれに基づく観点誤差について…………… | 正員 | | 多 谷 虎 男 | 64 | 88 |
| On the Motion of the Flood-Flow Running Down Through the River.—Some Deduced Characters.—…………… | 正員 | | 木 下 武 雄 | 64 | 101 |
| Kötter の方程式の理論土質力学への適用…………… | 正員 | | 山 口 柏 樹 | 65 | 1 |
| 格子ゲタ構造の極限荷重に関する一研究…………… | 正員 | 工博 | 米 沢 博 | 65 | 10 |
| 管水路における各種流量算定式の精度および従来の式の修正について…………… | 正員 | 工博 | 春 日 屋 伸 昌 | 65 | 16 |
| 系統火力の差引負荷継続曲線の推定——流し込み式水力を新設する場合——…………… | 正員 | 工博 | 大 久 保 達 郎 | 65 | 25 |
| | | | 須 山 武 司 | 65 | 25 |
| 分散材を応用する土の安定処理について…………… | 正員 | | 山 内 豊 聡 | 65 | 31 |
| コンクリート舗装の設計合理化に関する試案…………… | 正員 | | 西 村 昭 | 65 | 37 |
| 測角器械の軸並びに分度円関係誤差について…………… | 正員 | 工博 | 多 谷 虎 男 | 65 | 43 |
| コンクリート舗装軌道の垂直荷重による変形…………… | 正員 | | 佐 藤 裕 | 65 | 56 |
| 高炉セメントの使用方法に関する研究…………… | 正員 | 工博 | 丸 安 隆 和 | 65 | 別冊 (3-1) |
| | 正員 | | 水 野 林 一 輔 | 65 | 別冊 (3-1) |
| | 正員 | | 小 林 通 精 | 65 | 別冊 (3-2) |
| ロッド ミルによる製砂方法に関する研究…………… | 正員 | | 三 村 木 通 精 | 65 | 別冊 (3-2) |
| | 正員 | | 鈴 上 野 勇 正 | 65 | 別冊 (3-2) |
| | 正員 | | 細 谷 浩 正 | 65 | 別冊 (3-2) |
| 防波堤に働く碎波の圧力に関する研究…………… | 正員 | 工博 | 永 井 荘 七 郎 | 65 | 別冊 (3-3) |

東京試験機

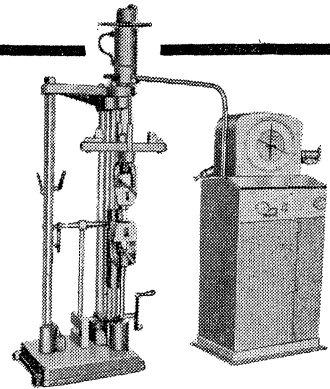
25 年 間 経 験



東 試 式

100 吨 コンクリート 圧縮試験機

TYPE A—No. 100 A



東 試 式

4 吨 木材 多能試験機

AN—No. 14

製 造 品 目

- 金属, 木材, コンクリート各試験機
- 各種回転体動釣合試験機
- ばね試験機・疲労衝撃各試験機
- 硬さ試験機・火工品装填自動機

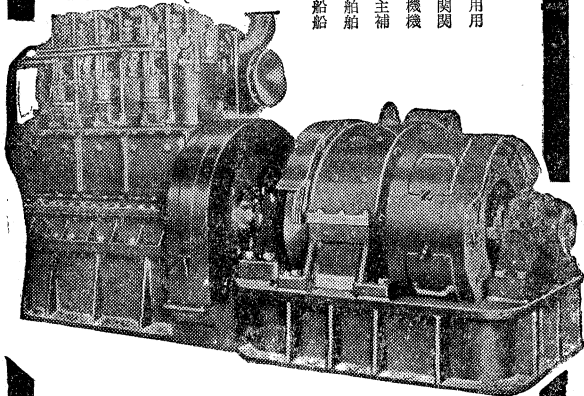
株式会社 東京試験機製作所

本社 東京都港区芝三田四国町15 電話三田 (45)2780・3133 (夜間3040)
工場 愛知県豊橋市 電話(豊橋) 2351・3037

AKASAKA DIESEL

創 業 50 年

50 B.H.P.~3,000 B.H.P.
各種発電機
ポンプ 船舶主補機
一級船舶主補機
船船主補機
船船主補機



株式会社 赤坂鉄工所

本社 東京都中央区銀座1の3(千成屋ビル)
電話京橋(56)4902・4903
工場 静岡県焼津市中392の1
電話(焼津)自2121至2125



業 歴 33 年

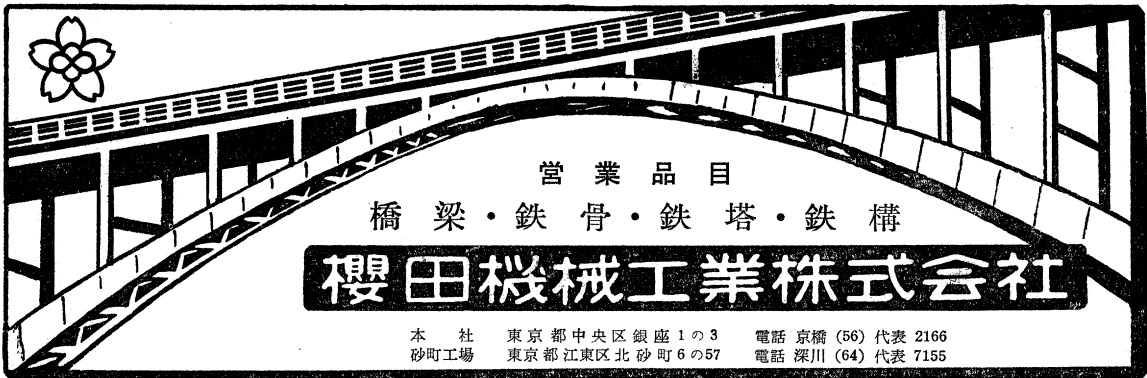


- バイオニア式急速濾過装置
- アクセトラ
- 並に各型沈澱装置
- ポサイドン純水製造装置
- 独B・L社精密計量ポンプ
- 塩素滅菌機
- 水位計・量水計
- 深井戸用水中モータポンプ
- 他水道用機械装置全般

日本プロイガー
水中モータポンプ

水道機工 株式会社

東京都中央区八重洲3-7
東京建物ビル
電話(20) 0371 (代表)



営業品目

橋梁・鉄骨・鉄塔・鉄構

櫻田機械工業株式会社

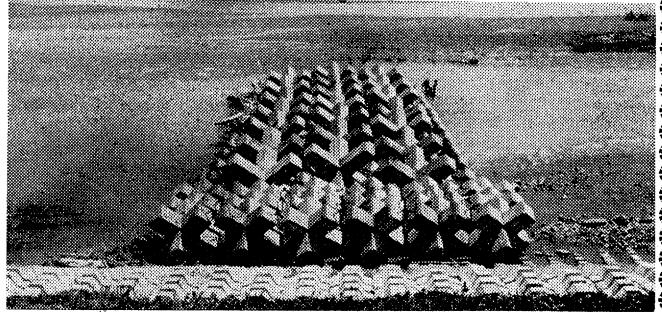
本社 東京都中央区銀座1の3 電話 京橋(56)代表 2166
砂町工場 東京都江東区北砂町6の57 電話 深川(64)代表 7155

間隙が自由自在の
組合せ

六脚ブロック工法



技研工業株式会社

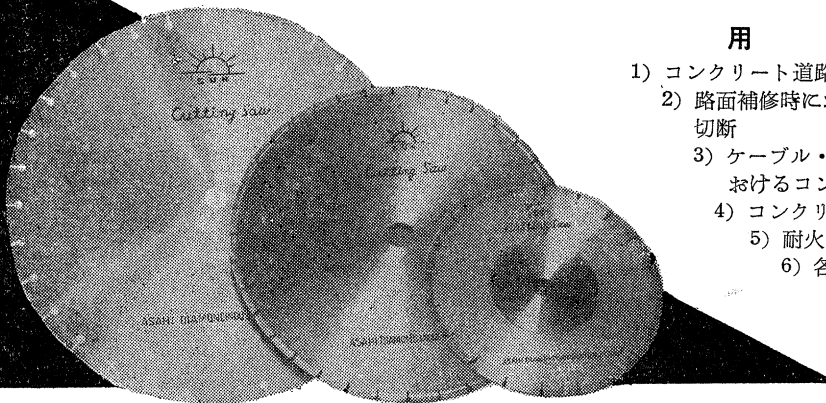


本社・研究所 東京都港区芝浜松町1-7 江口ビル
Tel (43) 8 0 4 4
四国出張所 徳島市紙屋町2-7 徳島ビル
Tel 徳島 5 1 6 8

アサヒダイヤの コンクリートカッターブレード

用途

- 1) コンクリート道路の目地切り
- 2) 路面補修時におけるコンクリートの部分的な切断
- 3) ケーブル・水道・ガス管等の埋設修理時におけるコンクリート路盤の切断
- 4) コンクリート試験片の切断
- 5) 耐火煉瓦の切断
- 6) 各種鉱石及び石材の切断



旭ダイヤモンド工業株式会社

本社 東京都中央区銀座東七ノ四 電話 (54) 5611~5
名古屋出張所 名古屋市千種区坂下町一ノ二八 電話 (73) 2133
大阪出張所 大阪市北区堂山町六五 電話 (36) 3676~7



— 世界に誇る ProteX —

空気連行杖

プロテックス

▲御一報次第説明書贈呈

★米国オートレン・ラブリカンツ会社極東総代理店

朝日物産株式会社

東京支店 東京都中央区京橋3-5 TEL (56) 代 3151.8811
名古屋支店 名古屋区大坂福岡

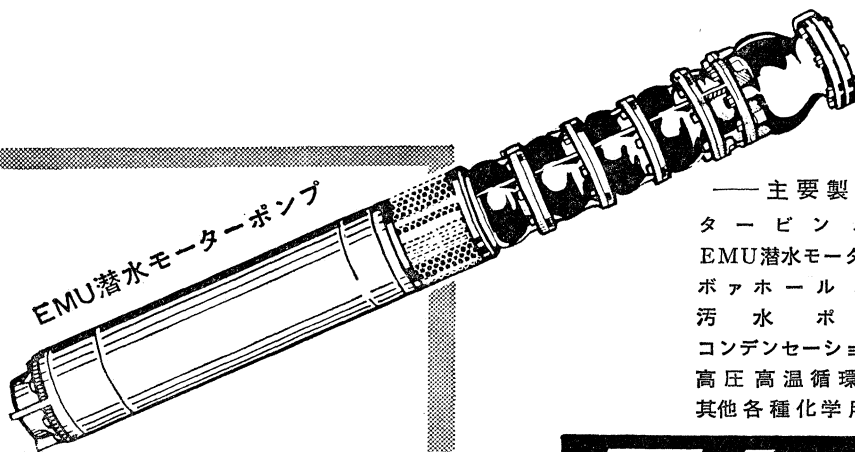
— **AE 剤** (空気連行剤) —

ヴァインソール

御一報次第パンフレット進呈

山宗化学株式会社

東京都中央区八丁堀二丁目三番地
電話 築地 (55) 5 2 9 2

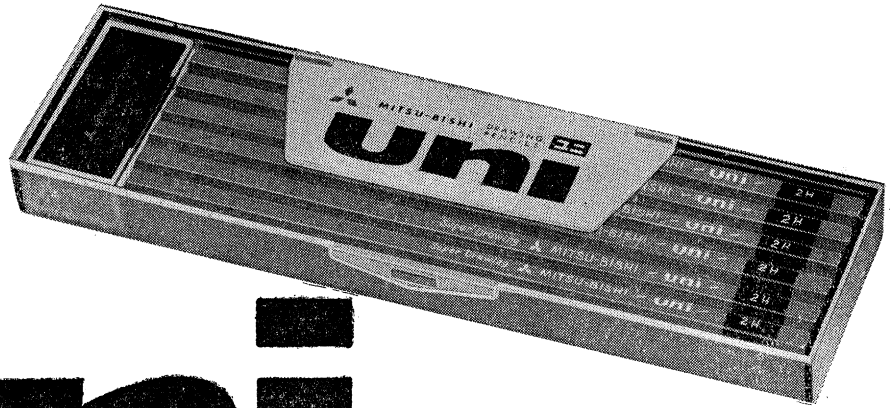


— 主要製品 —

- タービンポンプ
- EMU潜水モーターポンプ
- ボアホールポンプ
- 汚水ポンプ
- コンデンセーションポンプ
- 高圧高温循環ポンプ
- 其他各種化学用ポンプ

高砂鉄工株式会社名古屋工場
名古屋市中川区玉船町4丁目 電話 (66) 代表 3191
本社 東京

タカサゴ ポンプ



uni

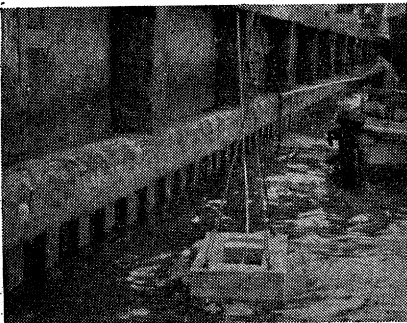
uni は三菱鉛筆の総力を挙げて完成した最高級の製図用鉛筆です。
uni とは **ONE** の意味の英語で——現代に存在する唯一つのもの——として敢えて名付けた次第です。

ユニの1ダース函は筆函としてのアフターユースをも考えたプラスチックと金属の美しいデザインのものです。
 この函の中には、新しい考案のグラインダーが1個ずつ入っています。

硬度 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 1ダース ¥600



電気防蝕法 CATHODIC PROTECTION



シートパイル電気防蝕工事
 (海中電極設置作業)

簡単な施行で鉄の寿命を数倍にノ (カタログ進呈)

- 港湾施設** シートパイル, 水門, 閘門, タイロッド, バースクリン, ロータリースクリン, 鉄鋼棧橋, ドルフィン, プイ等
- 地中施設** 埋設ガス鋼管, 深井戸ケーシング, 天然ガスケーシング, タンク等
- 工場施設** ボークスクーラー, コンデンサー, ガスクーラー各種熱交換器, プラインクーラー等
- 船舶関係** 油槽船舶槽, 外殻, プロペラー

高濃度亜鉛塗料ゼッタール (東洋特殊塗料製) Dual meter (pH 計兼用真空管電位差計) 発売
 NCE ohm meter (万能 AC Bridge)

日本防蝕工業株式会社

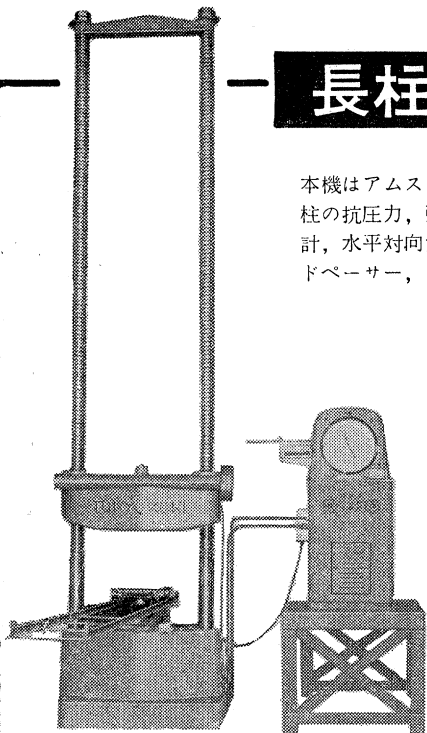
本社 東京都千代田区丸の内 3-2(東7号館) 電話(28)7171 (代表)
 大阪事務所 大阪市北区老松町 3-23(新老松ビル) 電話(36)6919・8140



総代理店 三菱商事株式会社

長柱型200屯圧縮試験機

本機はアムスラー型油圧式圧縮試験機でコンクリート及びセメント石材、その他長柱の抗圧力、強度その他これに関連する試験に用いるものであり、本体、振子動力計、水平対向六連ポンプ（PH-400）より構成されて居り、特別装置としてロードベアサー、ラムスピードメーター、定荷重装置を装備しております。



| | | | | | |
|-----|------|--------|--------|-------|-------|
| 力 量 | 最大力量 | 200 屯 | | | |
| | 変更力量 | 200 屯 | 100 屯 | 50 屯 | 20 屯 |
| | 最小目盛 | 200 kg | 100 kg | 50 kg | 20 kg |

| | | |
|------|-----------------|---------------|
| 主要寸法 | 主柱内側間隔 | 1020 mm |
| | 耐圧盤大きさ | 320 mm×320 mm |
| | 上下耐圧盤間隔 | 0～4,000 mm |
| | 本体最大高さ（ベット下面より） | 6,300 mm |
| | ラムストローク | 300 mm/min |
| | クロスヘッド昇降速度 | 280 mm/min |



株式会社 東京衡機製造所

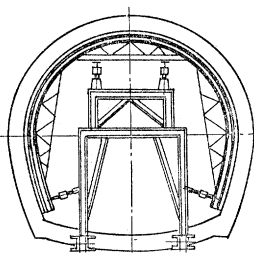
営業所 東京都品川区北品川4-516 電話 東京(44)1141(8)
 大阪出張所 大阪市南区八幡町6 電話南(75)6140-8150・8160
 福岡出張所 福岡県宗像郡津屋崎町803 電話 津屋崎104
 工場 溝ノロ・大崎

隧道用コンクリート打設新工法 “S. M式スライディングセントルホーム”

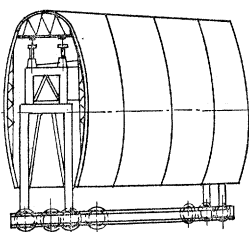
旧来のスチールホーム及びスチールセントルの長所を生かし精度・価格共に御期待出来ます。

断面および長さ
 御報告下されば
 御設計致します

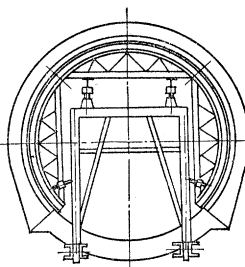
建設会社・鉄道御指定



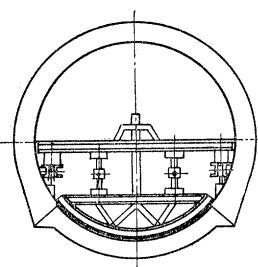
馬蹄型



同側面



心円型



インバートホーム

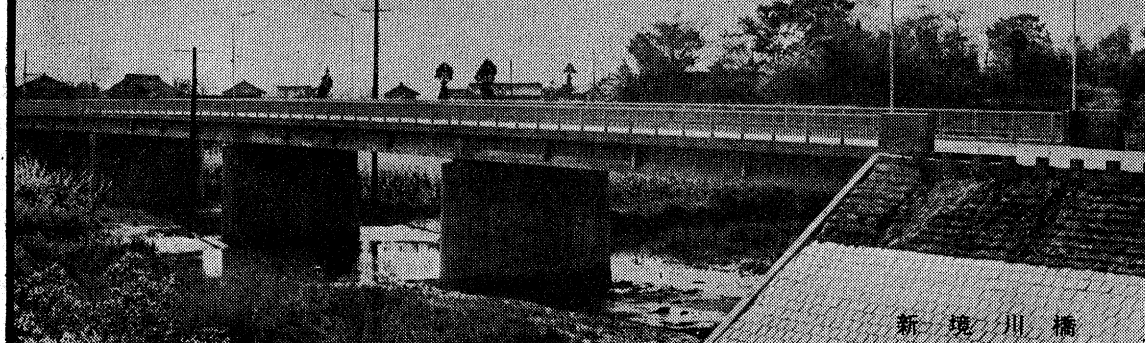
S. M. スライディングセントルホーム・スチールホーム・セントル支保工・専門設計製作

佐賀工業株式会社

本社・工場 富山県高岡市荻布209 TEL (高岡) 3183・4651 (伏木) 811

Strand工法による

Prestressed Concrete



新境川橋



安部工業所

社長 安部源三郎

本社 岐阜市神田町六丁目 電(2)0960(代)

出張所 東京・名古屋・大阪・熊本

(カタログ進呈)

水処理は 企業合理化の第一歩



クリタ式

工業用水処理装置

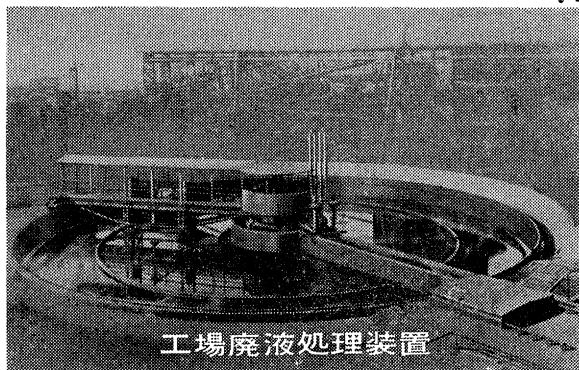
産業廃水処理装置

イオン交換装置

水泳プール浄化装置

クリタの

工業用水処理剤



工場廃液処理装置

栗田工業株式会社

東京 東京都港区芝金杉川口町3 TEL 東京(45)9641(代表)

大阪 大阪府大淀区豊崎西通2-24 TEL 大阪(37)9081(代表)

ウノサワのポンプコンプレッサー



〜主要製品〜

渦巻タービンポンプ 空気力輸送機
 空気ガス圧縮機 汽動ポンプ
 真空暖房ポンプ 真空ポンプ
 コンデンションポンプ ルーツブロワー
 クランク動各種ポンプ ギャーポンプ

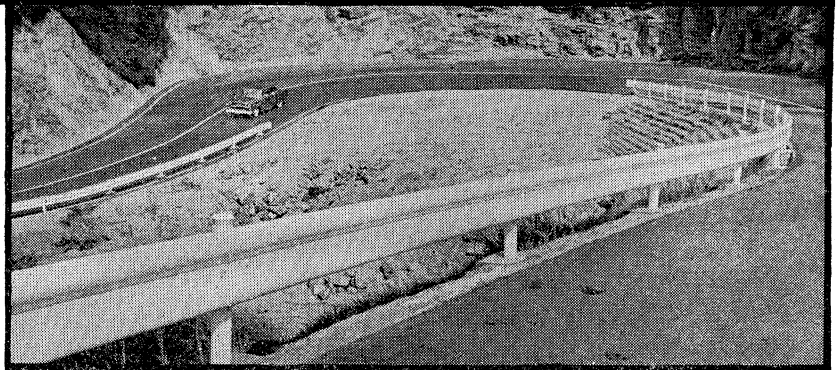
株式会社 宇野澤組鐵工所

本社及渋谷工場 東京都渋谷区山下町 62 電話白金(44)2211(代)
 玉川工場 東京都大田区矢口町 945 電話東京(738)4191(代)

自動車が道路から転落する事故を防止するため、最近、わが国の主要道路に日本鋼管の「NKK式ガードレール」が使用され、大へん御好評をいただいております。

特に路幅の狭い道路には特殊設計による曲柱ガードレールが、また橋梁には高欄用ガードレールが採用され、交通事故防止の一役を買っております。

日本鋼管の「NKK式ガードレール」は一組のセットとなっておりますから、現場で加工する必要がなく、簡単に取付けることが出来ますし、外観がきれいですから特に観光地帯には最適です。(説明書進呈)



(六甲山ドライブウエー)

NKK式

ガードレール

取付延長 180,000 m 突破

実用新案登録番号
 昭和33年
 481011



日本鋼管

東京・大手町